

野菜の展望

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も格段のお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

一昨年、昨年と幸いにも台風による甚大な被害の発生はなく、その後の暖秋傾向から急激に青果物全般、特に鍋物関連の商材は厳しい販売環境となりました。今年度もラニーニャ現象の発生から冬らしい気候になると予想されておりますが、それまでの暖秋による前進化傾向から端境期が発生する恐れもあります。

土物数品目は既に収穫を終えておりますが、6～7月の日照不足から肥大不足となっております。他の品目に於いては今後の天候推移を慎重に見守る必要があります。

葉茎菜類の白菜は茨城産主体に兵庫・九州産の入荷です。キャベツは愛知産を中心に、石川・鹿児島からの入荷で、概ね順調な入荷を予想しています。葱は石川産が終盤を迎えるものの、九州産の束物、群馬・埼玉産のバラ物が入荷があります。ほうれん草は九州・岐阜・群馬産が中心となります。レタスは兵庫産を主力に長崎産の入荷で、ブロッコリーは長崎産主体に石川・愛知・岐阜産の順調な入荷となります。

根菜類の大根は千葉産主力の入荷です。他に徳島産の入荷を予定しております。人参は愛知産がようやく安定した入荷になる予定です。他に千葉・長崎・鹿児島産の入荷です。甘藷は石川・茨城産主力の入荷となりますが、6～7月の日照不足の影響から残量は平年より少ない見込みです。

果菜類の胡瓜は高知・愛知産主体。茄子類は高知・愛知・熊本・福岡からの出回りとなります。トマトは愛知産主力に岐阜・熊本産の入荷です。ピーマンは高知・鹿児島産主体の入荷となりますが、果菜類全般に平年並みの入荷量の確保に努めますが、施設栽培主体の為、重油高が解消されなければ暖房費の節約から加温力が低下し、収穫、出荷量が平年に比べて減少する可能性があります。南瓜はメキシコ産主体に鹿児島・沖縄産の入荷ですが、輸入品は新型コロナウイルス感染症の影響による物流の乱れ等、不安定要素を含んでいます。

菌茸類の生椎茸は、石川産菌床物中心の入荷に富山・徳島・兵庫産も加わって、安定した入荷となる見込みです。露地原木物は「のと115」を中心とした入荷で、「のとてまり」は、5・6・7日販売。その後は、火・木・土販売の予定です。なめこ・えのき茸・しめじ類・舞茸等のきのこ類は正月休業のため、年始の出荷量は若干少なくなるものの中旬以降は回復して入荷量は昨年並みになると思われます。

土物類の馬鈴薯は北海道を主体に鹿児島・長崎産の新馬鈴薯が入荷します。北海道産は貯蔵の残量を見ながらの計画出荷となりますが、北海道・長崎産は生育期の高温干ばつによる不作傾向が報告されており、前年よりは少ない見込みです。鹿児島産の作況については、年明けに報告がある予定です。玉葱は北海道産主体の入荷です。前年に引き続き出荷量は多くない為、単価高での推移は変わらない見込みです。中旬以降には静岡県産新玉葱の入荷も始まります。高知産囲生姜は順調な入荷となります。牛蒡は青森県産と九州産の新牛蒡が入荷します。

新しい年を迎え、七草・成人式・新年会等の各種イベントに多彩な販売の企画立案の上、販売拡大にご協力をお願い致します。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、本年も格段のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

1月の果実は柑橘類主力となり、様々な種類の中晩柑類が出揃ってくる月となります。

長崎産を主力に和歌山・静岡産の出回りとなるみかんは、長崎産の入荷量は前年並となる予想です。静岡産は青島みかんの入荷で、2L・L中心の玉流れで昨年よりもかなり少ない入荷が見込まれます。

中晩柑類は主力の伊予柑に加え、デコポン・甘夏・八朔・ポンカン・せとか・ネーブル・マーコットなどの多種類の柑橘が出揃ってきます。愛媛産の伊予柑は、産地出荷量が昨年よりやや減少する見込みで、3L・2L中心の玉流れになると思われます。デコポンは鹿児島・佐賀・熊本産主体の入荷で、昨年並みの入荷になると思われます。

莓は愛知と長崎・鹿児島・福岡等の九州産地からの入荷となります。各産地、上・中旬一番果から二番果の端境用となり、昨年に比べ数量減の見通しです。

りんごは青森産のサンふじを中心に、王林・ジョナゴールド等の入荷となります。

柿は福岡産の冷蔵柿の入荷で、玉流れは2L・Lサイズ中心の入荷が見込まれます。

メロンは静岡産アールスがこれまでの重油高の影響から作付け量が減少しており、高知・熊本産についても作付面積減少等の要因からかなり少ない出回りが予想されます。

輸入果実ではフィリピン産、エクアドル産バナナは順調な入荷となります。

オレンジはカリフォルニア産ネーブルの販売で、中～小玉傾向ですが、徐々に増量となる見込みです。オーストラリア産バレンシア種は72玉・88玉中心で1月中旬ごろには終了する見込みです。グレープフルーツはイスラエル産ルビー、ホワイトともに44玉中心の入荷です。レモンはカリフォルニア産主体に出回り、安定した入荷となります。その他の輸入果実ではカリフォルニア産メロゴールド・イスラエル産スィーティーに加え、ゴールデンパイナップル・ハネジュウメロン・レッドグローブ・ザクロ・アボカド・マンゴー・トロピカルその他に、乾燥果実の甘栗・干柿・干芋・プルーンなどの多品目の入荷を予定しています。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

《果実部部長 荒木 智》